

“中日和解是对二戰70年最好的紀念”

馬立誠氏講演会

日中の和解は戦後70年の 最良の記念である

日時：2015年6月12日(金)16:30～18:00

場所：日本大学文理学部

図書館3階オーバルホール

(世田谷区桜上水3-25-40、京王線桜上水より10分)

通訳：及川淳子（日本大学文理学部非常勤講師）

馬立誠氏：中国『人民日報』元編集委員。

2002年に『対日関係新思惟（対日関係新思考）』を發表して過激なナショナリズムを誡め、東アジア共同体を建設することを提唱して大きな反響を巻き起こした。

近著『憎しみに未来はないー中日関係新思考』（及川淳子訳、岩波書店、2014年）、『反日ー中国は民族主義を越えられるか』（杉山祐之訳、中公文庫、2011年）等

主催：日本大学文理学部人文科学研究センター総合研究「近現代におけるナショナリズムと歴史認識への各国の対応に関する研究」（代表：小浜正子中国語中国語文化学科教授）
日本大学文理学部中国語中国語文化学科

☆終了後、馬立誠氏を囲む懇親会を予定しています。懇親会に参加ご希望の方は、あらかじめ下のアドレスまでご一報頂ければ幸いです。

(kohama@chs.nihon-u.ac.jp)

